

平成21年第9回辰野町議会臨時会会議録

1. 招集告示年月日 平成 21年 7月 6日
2. 開会場所 辰野町議事堂
3. 開会年月日 平成21年 7月 9日 午前 9時00分
4. 議員総数 14名
5. 出席議員数 14名

1番	矢ヶ崎 紀 男	2番	前 田 親 人
3番	三 堀 善 業	4番	中 谷 道 文
5番	中 村 守 夫	6番	永 原 良 子
7番	船 木 善 司	8番	岩 田 清
9番	根 橋 俊 夫	10番	成 瀬 恵津子
11番	宮 下 敏 夫	12番	宇 治 徳 庚
13番	山 岸 忠 幸	14番	篠 平 良 平

6. 会議事項

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号 平成21年度辰野町一般会計補正予算（第2号）

7. 地方自治法第121条により出席した者

町長	矢ヶ崎 克 彦	副町長	赤 羽 八洲男
教育長	古 村 仁 士	総務課長	小 沢 辰 一
まちづくり政策課長	松 尾 一 利	住民税務課長	林 龍 太 郎
保健福祉課長	井 口 敬 子	産業振興課長	中 村 良 治
建設水道課長	増 沢 秀 行	水処理センター所長	一ノ瀬 保 弘
会計管理者	竹 淵 光 雄	教育次長	林 一 昭
病院事務長	荻 原 憲 夫	福寿苑事務長	金 子 文 武
消防署長	赤 羽 守	両小野国保診療所	
社会福祉協議会		事務長	向 山 光
事務局長	林 康 彦		

8. 地方自治法第123条第1項の規定による書記

議会事務局長 桑 沢 高 秋

議会事務局庶務係長 武 井 庄 治

9. 地方自治法第123条第2項の規定による署名議員

議席 第7番 船 木 善 司

議席 第8番 岩 田 清

10. 会議の顛末

○事務局長

ご起立願います。(一同起立) 礼。(一同礼)

○議 長

おはようございます。梅雨を迎えうっとうしい日が続いておりますが雨に打たれたアジサイの花が一層鮮やかに映える季節となりました。本年6回目になります臨時会、早朝より大変ご苦勞さまでございます。本日も活発な質疑と慎重審議をお願いいたします。定足数に達しておりますので、これより平成21年第9回(7月)辰野町議会臨時会を開会いたします。直ちに本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。第9回臨時会招集にあたり、町長より挨拶を受けます。

○町 長

おはようございます。本日ここに第9回辰野町議会臨時会を招集申し上げましたところ、議員各位には時節柄お忙しいところをご出席賜り感謝を申し上げます。第61回辰野のほたる祭りも天候に恵まれまして、祭りの開幕とホタルの発生のピークが重なり、町内外から昨年より大きく上回る18万9,000人という歓螢客の皆さんに訪れていただき、鋸南町からも84名の一行が姉妹都市締結20周年を記念して訪れていただきました。初夏の風物詩でありますホタルの乱舞を堪能していただけたことと思っております。また37連2,400人の町民の皆さんが参加する町民総踊り大会も大きな輪となって、さまざまなイベントも重なり事故もなくそしてまた成功裡にほたる祭りが閉幕できましたことを、議員各位をはじめ実行委員の皆さんに心より敬意と感謝を申し上げる次第であります。

さて6月の日銀による「企業短期経済観測調査」いわゆる短観の発表によりますと、前回調査と比較し10ポイント上昇し2年半ぶりに改善され、県内の景気も下げ

止まりにあるという判断が出されたところであります。しかし上伊那地域の有効求人倍率は0.27と過去最低を4箇月連続で更新しており、憂慮に耐えないところであります。公共投資や各種の経済対策、浮揚策その効果や内需拡大に期待するものであります。このような状況の中、今臨時会でご審議いただきます議案は経済危機対策の臨時交付金を財源とした「平成21年度一般会計補正予算第2号」の1件であります。提案時ご説明申し上げますので、原案可決くださいますようお願い申し上げます、臨時会招集にあたってのご挨拶といたします。

○議長

これより日程に基づく会議に入ります。日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は会議規則第115条の規定により議席7番、船木善司議員、議席8番、岩田清議員を指名いたします。日程第2、会期の決定の件を議題といたします。お諮りいたします。本臨時会の付議事件は、あらかじめ告知のとおりでありますので、会期を本日一日としたいと思いますがこれにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議長

異議なしと認めます。よって会期は本日一日と決定いたしました。日程第3、議案第1号平成21年度辰野町一般会計補正予算(第2号)を議題といたします。議案の朗読をいたさせます。

○議会事務局長

(議案第1号 朗読)

○議長

提案者より提案理由の説明を求めます。

○町長

それでは平成21年度辰野町一般会計補正予算(第2号)を提案するにあたりまして、提案理由を申し上げます。この補正予算は、国の第一次補正であります地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業に伴います補正予算であります。この補正総額は2億2,371万2,000円の追加であり、予算総額は76億4,745万6,000円となりました。その概要を申し上げますと歳入につきましては分担金、国・県補助金、繰越金の増額補正であります。歳出につきましては、始めに単独事業分として総務費にプレミアム商品券発行事業、安心・安全な道路整備事業、新型インフルエンザ対策

事業、保育園下水道接続事業などの経費約1億5,000万円を計上しました。次に補助事業分として、農林水産業費に農地有効利用支援整備費約700万円を、教育費には小中学校の地上デジタルテレビ化に対応するための情報システムの構築経費、約6,700万円を計上いたしました。以上のとおり補正予算の概要を申し上げましたが、必要に応じて関係課長より説明いたさせますのでご審議の上、可決くださいますようお願い申し上げます。以上であります。

○議長

これより質疑、討論を行います。

○根橋（9番）

安心・安全な道路整備ということで今回補正を組んでいるわけですが、21年度に対して各区から特に道路関係の要望が沢山出ているというふうに理解をしております。そういう中でも21年度事業の中でも単独事業でもこれを取り入れていると思いますけれども、まだかなり積み残しているのではないかと、そういう中で今回もこれを活用して予算組をされていると思うんですけれども、そういう中で今回まだなお積み残し部分っていうのはどのくらいあるのか、今後これに対してどういうふうに対応するのか、特に経済対策の中では更に公共事業関係もあるというふうに聞いておりますので、そのへんについての考え方をお聞きしたいと思います。

○建設水道課長

各区からの要望っていうのはこの2、3年取っておりませんが、実質的に区の方から上がってくる要望は数多くある予定であります。しかし今回の経済危機対策の臨時交付金につきましては庁内で検討した中で、生活の幹線道路という形の中で町内の主要道路を修繕、あるいは補修していくという形の中での予算組をしましたので、各地区からのものにつきましては数少ない数字でありますけれども町単の工事、あるいはこれからも期待されるような交付金等でもって対応をしていく予定をしております。以上であります。

○議長

他にございますか。

○船木（7番）

まず2点お願いしたいんですけれども、1つはですね歳入、この歳入の額、交付金補助金というのがですね何を根拠にこの額が決まってくるのか、まずその1点。

それから2点目はですね学校の情報通信技術環境整備事業ということで、小中学校の情報システム構築ということが載っておりますけれども、これはパソコン、それからラン回線の構築ということで載っておるわけなんですけれども、実は一般予算の中でもパソコンのリース料としてですね今年度は教員分の130台、それからパソコン教室分の105台これがリース料として一般予算の中でも盛られてるわけなんですけれども、今回ここでパソコンを相当数購入、もしくはリースするのかなと思うんですけれどもその一般の中で見ているのとの兼ね合いはどんなふうにあるのか、2点お願いします。

○まちづくり政策課長

それでは歳入の交付金の算定方法でございますけれども、まず地方再生対策費算定額ということでこれはございまして、これは人口プラス耕地林野面積等で算定されたものへ人口等の補正係数、それから18、19、20年度の基準財政収入額、基準財政需要額等を掛け合わせまして上限としまして1億6,200万2,000円ということに決定をされてきております。以上でございます。

○教育次長

それでは学校関係についてお答え申し上げます。当初予算に盛ってございますのは正規の教員充てのものが主なものでございます。今回整備お願いするのは臨時的な講師というような身分の方、それから特別教室、図書館、給食室これらの校内ランが未整備でございますのでそこへあてはめる台数でございます。以上であります。

○議 長

よろしいですか。

○船木（7番）

実は一般予算の中でその教員分が130台リース料として盛ってますよね。その130台分の中からこの今回用意する数十台だと思うんですけれども、その最初のリース料っていうのには影響してくるのかこないのか、というところです。

○教育次長

リースの分とは全く別のものがございます。

○議 長

他にございますか。

○成瀬（10番）

10ページの15番、工事費請負費の所でありますけど、役場庁舎にLED蛍光灯設置工事、先日の説明の中では1本2万円を100本っていう説明がありましたけど、本当にこの1本2万円っていうのは非常に良い値段だと思います。この中で通常の蛍光灯の約5倍対応年数があると言いますが5倍っていうとどのくらい保つんでしょうか。

○総務課長

現在使用しております蛍光灯がですね1年半から2年ということですので、最長10年ということでもありますけれども、まだLEDはですね発売されてからまだ実績がないわけでごさいます、概ね5年から10年というちょっと大きな幅になりますけれどもそのくらいを私どもの方では想定をさせていただいております。

○成瀬（10番）

金額的にはどのくらい削減できるってことがお分かりになりますでしょうか。

○総務課長

金額でもってはいじますとですね、これは太陽光発電と同様でごさいます採算が合わないというような数字が出ております。実際に電気料は半分ですけれども100本という蛍光灯はですね庁舎の中のごく一部でごさいます、それをあれしますと年間最大に見積もっても140万くらいかなという計算が出ております。今回の工事で200万、もし掛けた場合にですねそうすると1年間で15万円くらいですので、10年間としましても150万くらいということで若干そこに追いつかないという数字の状況でありますけれども、今回の導入にあたりましてはですね国も進めておりますCO<sub>2</sub>削減の温暖化防止もですね環境対策ということで、そのパイロット事業的にですねPRをするために導入をさせていただいた趣旨でごさいますので、経費の方はうちの方はそのへんは差額が出るということで導入したわけではごさいません。以上です。

○議 長

他にございますか。

○宮下（11番）

今回の地域活性化経済危機対策交付金ということでここに各項目毎にありますけれども、多分入札した場合には大分この予算よりは低くなると思うんですけれども、

この交付金との差額については、あくまでもこのここに掲げた各単独事業に充てるわけですが、その余ったものは一般会計のこの補正予算ですが、この対象事業以外に使うのか、それともこの対象事業を追加で事業するのかちょっとお伺いします。

○まちづくり政策課長

入札差金等が出てくると思われまますので、この総務費に一括1本で計上させていただきます。国のものでこの交付金のメニューにあったものにつきましては使用できるというような形で考えております。以上です。

○議長

よろしいですか。

○宮下（11番）

この趣旨が地域活性化経済危機対策臨時交付金ということですので、入札等におきましては今までの入札制度もあると思えますけれども、極力この交付金の事業については地元の業者を、価格等もありますけれども優先でできるような方策もまた考えていただければありがたいと思えます。

○議長

他にございますか。

○副町長

今の件につきましては今回のこの臨時交付金の趣旨もですね「地域の中小企業の受注機会に配慮」という一項もありますので当然町内を優先的にですね考えていきたいと思っておりますが、ものによってはどうしても町内の業者では発注のできない部分も若干含まれておりますので、そのへんのところをご理解いただいて趣旨に沿って今までのパターンと少し変えることも出てくるかと思えますけれども、町内業者受注という形で進めていきたいとこんなように思っています。

○議長

他にございますか。

○中谷（4番）

ちょっと質問させていただきますけれども、2億2,000万ていうような大変なお金が町へくるということで大変結構なことで、この有効利用ということについて質問したいと思えますけれども、いろいろと採択する事業の種類は見させていただ

ておりますけれども、事業採択にあたってはもちろん町の基本的なさきほどの基幹生活道路を最優先とかあるとは思いますが、どのような組織で組織というか町で検討されたか、区からの要望等あるいは前々からの課題をここに載せたとか、あるいは経済対策ということで一定の制限があるので、何でもかんでもというわけにはいかないというふうな考え方もあると思いますが、特に辰野町では職員に若手の優秀な皆さんが揃っているということですので、2億2,000万ていうような大きなお金を最も有効に利用するという面ではこれで果たして本当に満足できるのかどうかちょっと経過をお聞きしたいと思います。

○町 長

お答えを申し上げます。この景気浮揚策に対しましてのいろんな事業の決定にあたりましてであります、まず住民の皆さん方から強い要望があるもの、経済投資効果のあるもの、そしてあるいはものが危険だとかいうようなことになると危険度の高いもの、それに加えて私の政策で予算上どうしてもできなかったものなどが加わりその中でまた順位を付けて決定いたしております。以上です。

○議 長

他にございますか。

○岩田（8番）

3点お伺いします。10ページの歳出の方なんですけれども、まずですね13の委託料につきまして橋梁長寿命化調査委託料というのがございます。町内の279橋を調査するということなんですけれども、既存で流されたものやなんかは今もう工事もありますし、城前もやっていますけれどもこの予算を付けたのの要するにですね緊急性、有用性、優先性ということについてはどういう形で判断されたのでしょうか。それとですねその調査をされる業者ですね、発注される業者についてこれは辰野町の業者になるかどうかということですね。でその下でですね公営住宅の方の長寿命化をこれは多分1級建築事務所ということは分かりますけれども、それをお伺いしたいと思います。それから2点目ですね、図書館につきましてですけれども移動図書館車ということでございますけれども、これは金額も多分張ると思いますし、特殊なものですのでこれも地元の業者に発注できるのかどうか、これをお伺いしたいと思います。それからですね3番目さきほど成瀬議員も質問されましたけれども、役場庁内のLEDの蛍光灯ですけれどもこれは発色の状態やなんかは既存の蛍光灯と一

緒でしょうか。200 くらい仮に付けたとしてもですね1列おきに付けても、光の加減が違って事務に差し支えがあるかないかとかそういうことについてお伺いしたいと思います。それからですねLEDと送迎用の公用車につきましてもですね低酸素革命にのっかってということ謳ってありますけれども、低酸素革命ということを経営課長はどうやって認識されているかお伺いしたいと思います。

○建設水道課長

1点目も橋梁の長寿命化の関係の委託の関係でありますけれども、現在町の道路台帳上に載っている橋梁が279橋ございまして、確かに木橋あるいは流されていると言いますか老朽化して渡れないような橋もございまして。そういう中でその全ての橋を調査をしまして、その調査をしていかないと例えば町単工事あるいは国のお金をいただいてやる補助事業等についてもその予算付けがなされないということの中でこの機会をいただきまして長寿命化の計画を策定するわけであります。当然これから橋梁等の工事をしていくような場所がありますので、そういう場所を優先的に調査を行っていくような形をしていきたいと思っております。それから業者の選定等につきましてはですね、非常に長寿命化計画の選定あるいは策定事務が非常に煩雑と言いますか難しいものでありまして、業者選定につきましては当然地元の皆さんも入れておきますけれども町外の業者も入ってくる可能性がございまして。公営住宅の長寿命化の計画でありますけれども、これも同じように業者選定は当然地元の業者あるいはそれに精通しております町外の業者も入ってくる可能性はございまして。以上でございます。

○教育次長

図書館車についてお答え申し上げます。代車につきましては車種を選ばせないので同等車というふうなことで中で市内業者に発注をしたいと思っております。艤装については全国にあまりないというふうにお聞きしておりますので受注元でそちらの方へお願いすることになるかと思っております。以上です。

○総務課長

LEDの関係のご質問でございますけれども、LEDの明るさ等につきましてはですね現在の蛍光灯が1本40ワットということでございまして、この消費電力に対しましてこのLEDの蛍光管にいたしますとこれ管という形は違いますが、構造的にもう全然根本が違っていて小さな電球が100個くらい入っているような電

球を想定をしていただいて、それが管になったというようなそういう形で想像していただければと思いますが、これは両方でもって電極で発行させている蛍光管であります、これでいきますと大体消費電力が半分くらい20ワットくらいで同じくらいの明るさが確保できると。現物を見た限りでは今の蛍光灯にもですね乳白色のものと蛍光管の本当に光りの白い光のものがありますけれども、白い光に近い発光となりますのでほぼ同じような光の中で対応できるのではないかと、というように考えております。それから難しいご質問でございましたけれど、低酸素革命ということで私もあまり深くは認識しておりませんが、地球規模の温暖化が問題になっている中で将来の環境をどうするかということで化石燃料から酸素を使わないエネルギーへの転換で、というようなことで世界が動いているところであります。これはそれぞれの国の駆け引きもありまして、数字では出てきておりませんが町にもですね県の方から下りてきてそのCO<sub>2</sub>削減のそういう計画も出しているところでもあります。そうしますとこれに変えますことによって蛍光管1本から1年間に50kgくらいの二酸化炭素が削減できるというような数字をいただいております、それに一役を買っていただくということでPRをさせていただけたらという発想で、この事業を取り込ませていただいたところでもあります。回答になるかどうか分かりませんがよろしくお願いします。

○岩田（8番）

分かりました。橋梁調査について再質問させていただきますけれども、調査の結果は公開されるかどうか、そしてそれが数値化されてですね逆に「これは危険だ。」とかいうことがもし公開されることによって町民の不安をあおることにならないのか。

○建設水道課長

調査結果につきましては当然データベース化されますので、公開をする予定でございます。調査の結果につきまして渡れないという橋は今のところございませんけれども、重量関係とかあるいは構造的に危ないものにつきましては通行制限あるいは場合によっては通行止め等を行っていく場合もあると思います。以上です。

○議長

他にございますか。

○宇治（12番）

2点お願いします。さきほど来、出されておりますLEDの蛍光灯の件ですが、私もおききした単位では蛍光管を替えるというように理解をしているんですけど、この内容がですね設置工事という項目になってますけれども、工事を伴うというその内容をお聞きしたいと、それから取り外した物は何か有効に使う用途が先があるのかどうかというのが1点。それから12ページの両小野小学校の負担金の中身についてお願いします。

○総務課長

LEDが15節の工事費に盛られている経過でございますけれども、こちらにつきましてはですね現在の蛍光灯の何て言いますか構造でいきますと、この裏にですね多分これもそうですけれども安定器が入っております、それによってその両方の極でもって光電を放電をしているというようなこういう構造でありますけれども、LEDの場合はですねその部分を取り外しまして、直結をした構造でいきますとこの機器が使えるということでございますので、全部の蛍光灯の機器についてですね工事資格のある方がですね、工事をしないとLED管が取り付けれないというそういう状況でありますので、工事費の方に盛らしていただいた経過でございます。よろしくをお願いします。それから取り外しました蛍光管につきましてはですね、これは1年間に使用頻度の高い所は1本くらいを替えておりますものですから、使える所につきましては再利用を考えていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

○教育次長

それでは12ページの両小野小学校の負担金についてお答え申し上げます。町内の学校につきましては13と18に盛らしていただきましたけれども、同様のラン事業、それからデジタルテレビ、電子黒板、同様に両小野小学校でも行いますので町で受けて両小野の方へ負担をしながらそこで同等の事業をするというものの総額でございます。

○議 長

他にございますか。

（な し）

○議 長

質疑、討論を終結します。これより議案第1号平成21年度辰野町一般会計補正予

算（2号）についてを採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決するに、ご異議ありませんか。

（議場 異議なしの声）

○議 長

異議なしと認めます。よって議案第1号は原案のとおり可決されました。以上で本臨時会に付議された事件は、全部終了いたしました。よって平成21年第9回（7月）辰野町議会臨時会を閉会といたします。大変ご苦労様でした。

#### 1 1 . 閉会の時期

午前 9時 32分 閉会

この議事録は、議会事務局長 桑沢高秋、庶務係長 武井庄治の記録したものであって、内容が正確であることを認め、ここに署名する。

平成 年 月 日

辰野町議会議長

署名議員 番

署名議員 番